美唄市立東中学校だより
東中 TONCHU
【学校教育目標】
未来を切り拓く生徒の育成
【学校経営のキーワード】
一致団結　東中!!
令和８年10月30日　第８号　校長　野村　勝紀　発行　Tel:0126-63-2610/Fax:0126-62-5257

部活動の地域展開～子どもたちの豊かな体験活動を地域全体で支える～

校長　野村　勝紀

部活動は、高い教育的効果をもつ活動として長く学校が担ってまいりました。一方で、その活動の多くが教職員の勤務時間外労働に支えられてきたという背景があります。平日の時間外労働や休日の長時間の大会引率が課題となる中、平成31年１月には文部科学省より「学校が担ってきた部活動の役割を地域全体で支える」という方向性が示されました。

しかしながら、指導人材の確保や運営する資金の調達など地域側の課題も多く、全国の自治体で手探りの対応が続いているのが現状です。

美唄市における部活動の地域展開は、市及び市教育委員会が解決主体となり、地域展開に向けた取組を進めています。令和８年３月に提出された美唄市部活動の地域移行検討協議会の報告に基づくロードマップでは、令和11年３月までの地域移行完了を目指し、平日も含めた段階的な地域展開が進められる計画です。本校におきましても、行政や地域の皆様と連携しながら、この取組にしっかりと協力してまいります。

教職員の本来の使命は、質の高い授業を提供し、子どもたちの確かな学力や健やかな育ちを支えることです。教職員が情熱と誇りをもって教育活動に専念できるよう、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

■東中学校の部活動の地域展開に関する考え方

令和13年度末までに、休日の地域移行を完了、平日もできるところから地域へ移行するという国、北海道の考え方をもとに、

①美唄市及び美唄市教育委員会による地域展開の取組に全面協力します。

②生徒・保護者の皆さんの思いをくみとりながら、学校職員が教職に専念できる環境づくり（学校の働き方改革）を進めます。

③生徒数の減少、学校の働き方改革の推進を目的に、部活動の統廃合、地域移行、活動内容・時間の縮小に取り組みます。

※本校職員の勤務時間 8:10～16:40（休憩時間　15:45～16:30）

地元に学ぶ（2 年生）

８日（木）に、２年生は職業体験学習を行いました。美唄市の企業や公共施設、計 23 事業所のご協力を受け、実施させていただきました。体験を通して、改めて働くことの大切さや苦労を実感できたと思います。貴重な経験をさせていただいた企業等の皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、今後も自身の進路について考えを深めて欲しいと思います。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。






１ 年生は赤平で

20 日（火）に、１年生は赤平市の（株）植松電機を訪問し、体験学習を行いました。植松社長の講話を聴いた後、ロケットづくりを行い、自分で作ったロケットを実際に打ち上げさせていただきました。とても貴重な体験ができました。

「 思うは招く ～ゆめがあればなんでもできる～ 」です。





東中アラカルト

公開研究会
２年英語科を公開





生徒会役員選挙
立会演説会

箏の授業ボランティア
全学年音楽



【１１月行事予定】

日	曜	学校行事
1	日	
2	月	教育相談⑤ (学)中間テストに向けて
3	火	文化の日
4	水	教育相談⑥ ２年:LGBTQ 講演
5	木	３年:美唄探求(前半G) 教育相談⑦(予備日)
6	金	３年:美唄探求(後半G) 学年部会(芸例)
7	土	
8	日	
9	月	分掌係会議(定例) ぶらり研(～13 日) 昼清掃 特別支援職場体験学習(1･2 年)
10	火	定例委員会　教育支援委員会
11	水	全:学力テスト(3年:総合C)　制服登校 部活動休養日
12	木	２年:尚栄高等学校訪問 第５回教研協 部活動休養日 市Ｐ連研究大会
13	金	３年:授業参観･懇談会 部活動休養日 Samson’s Lesson[4-⑰] 特別支援職場体験学習(3 年)
14	土	
15	日	
16	月	職員会議 テスト前部活動休止①
17	火	３年願書用写真撮影 テスト前部活動休止②
18	水	テスト前部活動休止③
19	木	後期中間テスト(制服登校) 部活動休止(テスト当日) 東小公開研
20	金	三者懇談① 昼清掃
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	三者懇談②
25	水	三者懇談③ 昼清掃 ＳＣ来校日ＰＭ ３年ＳＣ道徳 特別支援市内小中交流会
26	木	三者懇談④
27	金	三者懇談⑤ 昼清掃
28	土	
29	日	
30	月	三者懇談⑥

※学校 HP でも生徒の活動している様子を随時紹介しています。お時間の有るときに、右の QR コードを読み取って、ご覧ください。